

令和2年度学校自己評価システムシート (県立川越工業高等学校 定時制)

目指す学校像	社会の変化に主体的に対応できる力と自立する力を育成する
--------	-----------------------------

重点目標	1 基礎学力の定着を図る 2 地域社会や家庭との連携を推進する 3 進路実現を目指す
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価								学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)			実 施 日	令 和 年 月 日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	【現状】 ・多様な生徒が在籍しており、授業に集中させるため、学習に取り組む指導を行い、落ち着いた雰囲気の中で授業が進められている。 【課題】 ・授業や部活動など学校活動に積極的に取り組む授業態度の育成。 ・多様な生徒に対応した新教育課程の検討・策定	・基礎学力の定着及び指導力の向上と学習環境の整備 ・特色ある現行教育課程を踏まえた新教育課程の検討・策定	①教職員で校内巡回指導を行い、規律ある授業を粘り強く実践する。 ②ICT 機器やアクティブラーニングを活用し、生徒に興味関心を高める授業を実践する。 ③教科間の連携と多文化共生推進員及び学習サポーターの活用により、多様化する生徒の支援を行う。 ④教育課程委員会を中心に研究を進め、新しい教育課程を策定する。	①巡回指導を含め、規律ある授業の維持ができたか。 ②アンケート結果から、学習意欲・理解度等の向上がみられたか。 ③教職員と学習サポーター等の協力体制を深め、きめ細やかな取り組みが実施されたか。 ④令和4年度年次進行に向けた新しい教育課程が策定できたか。					
2	【現状】 ・HP等を活用し、情報発信を行い、学校評価懇話会において意見交換等を実施している。 ・外部の教育機関との連携を積極的に実施している。 【課題】 ・より多くの保護者や外部の方々に、教育活動をご覧いただけるよう周知し理解を得る。	・HP等の情報発信 ・開かれた学校づくり	①HP内容を工夫・充実し、迅速にわかりやすい掲載を心がけ更新回数を増加させる。 ②学校行事の案内を早期に発信し、保護者等の参加を促す ③学校評議員会や学校評価懇話会の意見交換や助言を積極的に活用する。 ④SSWや自立支援事業(サポートステーション)等、外部の専門機関との連携を図り、積極的に活用する。	①アクセス数を増やすことができたか。 ②保護者の方や外部の方の参加が増加したか。 ③本年度の反省・まとめを行い、次年度の課題をまとめることができたか。 ④外部の専門機関との連携が強化でき、生徒・保護者に還元できたか。					
3	【現状】 ・落ち着いた生徒が増えている。 ・多様な個性を持つ生徒の支援を組織的に実施している。 【課題】 ・これまでの成果を踏まえ、各年次、各部会、各委員会等で連携し、卒業後自立した社会人として活躍できるよう生徒を支援・指導する。	・規律ある生活態度の育成とともに多様な生徒の状況の理解と支援 ・各組織間で連携した組織的な生徒の卒業後の自立指導支援の構築	①声掛け運動(登下校時・校内巡回等)を実施する。 ②各年次、生徒指導部、特別教育支援推進委員会を中心とし、多様な生徒の情報共有、理解、支援を行う。 ③生徒の進路説明会、短期見習雇用(インターンアルバイト)を積極的に活用し、面接や履歴書指導等を就職支援アドバイザーと行う。	①出席率が向上し、規律ある授業を維持しているか。 ②情報共有、理解、支援を進められているか。会議の回数や対象とした生徒の人数。 ③個々の生徒に応じた進路指導が実施されているか。進路実現した生徒の第一志望の割合。					